学年・教科	第１学年	理　科	担当者　　田所　泰久

学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。

指　導　計　画		学　習　内　容
○　いろいろな生物とその共通点 １章　植物の特徴と分類 ２章　動物の特徴と分類	１学期	・植物について、観察結果に基づいて花や葉、根などのつくりやふえ方などの特徴を比較、整理し、それらが段階的に分類できることを学ぶ。 ・動物について、観察結果や資料に基づいて脊椎動物や無脊椎動物の特徴を比較、整理し、それらがいくつかのなかまに分類できることを学ぶ。
○　身の回りの物質 １章　いろいろな物質とその性質 ２章　いろいろな気体とその性質 ３章　水溶液の性質 ４章　物質のすがたとその変化	２学期	・　物質をいろいろな方法で調べ、性質によって物質が分類できることに気づき、物質に共通する性質や固有な性質があることを学ぶ。また、質量を定義し、物質を見分ける方法の１つとして密度があることを学ぶ。 ・気体の発生について、同じ気体であれば発生方法が違っていても同じ性質を示すことに気づき、気体の性質を調べることによって気体を区別することができることを学ぶ。 ・水溶液の性質について粒子概念を導入するとともに、飽和水溶液から溶質を取り出す方法などを学び、溶解度や質量パーセント濃度について学ぶ。 ・物質の状態変化について粒子概念とともに理解し、融点や沸点が物質に固有なものであり、これらを利用して物質を区別できることを学ぶ。
○　光・音・力による現象 １章　光による現象 ２章　音による現象 ３章　力による現象	２学期	・物が見えるという現象を解明し、反射や屈折、全反射など、光の性質について学ぶ。 ・音が発生するしくみに気づき、音の速さや伝わり方、音の大小・高低が生じるしくみや音の性質について学ぶ。 ・力の大きさのはかり方を理解するとともに、重さと質量の違い、力の表し方、２力のつり合う条件について学ぶ。
○　活きている地球 １章　身近な大地 ２章　ゆれる大地 ３章　火をふく大地 ４章　語る大地	３学期	・大地の姿の多様性に触れ、大地を観察する視点や調べる方法などについて学ぶ。 ・地震によるゆれの規則性やゆれに影響する要因などを考察し、地震とプレートの運動の関連性について学ぶ。 ・マグマの性質などと関連づけて火山や火成岩の多様性、その成因について学ぶ。 ・地層の広がりや長大な時間に伴って変化する大地の姿について考察し、大地の恵みと災害について、自然現象のしくみと関連づけて時間的・空間的な変化を続ける地球について学ぶ。

観点別評価の観点と主な方法について

○　知識･技能
- ・定期テスト（知識・理解を問う問題）
- ・観察･実験レポート等（式やグラフ、記述内容等）
- ・観察、実験、実習時の操作や取組状況等

○　思考・判断・表現
- ・定期テスト（論理的に思考し記述する問題、情報を精査する問題等）
- ・観察、実験報告書等（特に考察の記述）

○　主体的に学習に取り組む態度
- ・ノート･ワーク等の提出物（提出状況や記述内容等）
- ・授業中の様子（発言や取り組み態度等）

学習のアドバイス
- ・観察や実験の際、得られた結果から「考えられることは何か」「なぜこのような結果が出たのか」など、しっかりと考察すること。
- ・授業で学んだことはその日のうちに復習すること。知識を定着させるために、ワーク等を有効に活用すること。

使用教材
- ・教科書・ワーク